

特許明細書を HTML 形式に変換するマクロ

使用条件

本マクロは、以下について同意していただける場合にのみ使用してください。実行した時点で、この使用条件に同意して頂いたものとみなされます。

1. ライセンスについて

本マクロはフリーウェアです。

機能制限はありません。

使用期限のメッセージがでましたら、新しいバージョンをダウンロードしてください。

2. 免責事項について

本マクロを使用すること等によって発生したいかなる損害についても、一切の責任を負いません。

3. 転載・再配布について

本マクロを第三者に配布、レンタル、リース、貸与及び譲渡することはできません。

また、インターネットや書籍などで不特定多数へ再配布する場合は、事前に著作権者へ連絡をお願いいたします。

4. バージョンアップについて

予告なしに改良の為に本マクロの変更を行うことがあります。

5. 著作権について

著作権者は榎本昌史です。

6. 連絡先


suzu@eno3.com

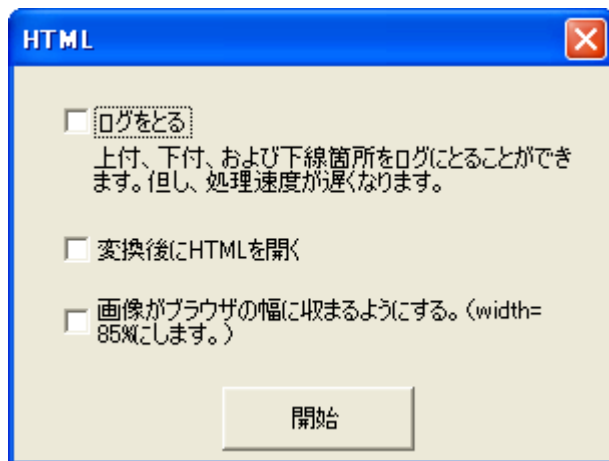
使用方法

1. HTML に変換する

ワードファイルを HTML ファイルに変換します。

使い方

1. 変換するワードファイルを開く。
2.  ボタンを押す。
3. 設定画面が表示されます。必要な処理をチェックします。



4. 開始ボタンを押す。
- ワードファイルに、上付、下付および下線が含まれる場合、「ログをとる」にチェックをするとその位置をログに出力します。
 - 「変換後に HTML を開く」にチェックをすると、変換が終了した後に HTML に変換されたファイルを表示します。
 - HTML ファイルは元のワードファイルと同じフォルダに保存されます。
 - html に変換すると画像がブラウザの表示エリアに収まらなくなります。表示エリアに画像を収めたい場合は「画像がブラウザの幅に収まるようにする。」をチェックしてください。

注意

- ログを出力する場合は、処理速度が若干遅くなります。
- HTML 形式で開かれたファイルは、ワード形式で保存をしないで下さい。

- 画像はリンク形式でワードファイルに挿入して下さい。リンク形式以外の画像は、HTML 形式に変換できません。
- オートコレクトが有効になっているときのダブルクォーテーション「 ” 」は変換されません。
- 「 ” 」等のスペシャルキャラクタが全角の場合は、それらの特殊文字は変換されません。

詳細

- 変換ルール

文頭に付加	<HTML> <HEAD> <TITLE></TITLE> </HEAD> <BODY>
文末に付加	</BODY> </HTML>


文字修飾等		スペシャルキャラクタ	
改行	 	「 ” 」	"
下線	<U></U>	「&」	&
上付		「<」	<
下付		「>」	>

- リンク挿入されている画像は、に変換されます。

2. HTML ファイルを開く

HTML ファイルを Word 上で開きます。HTML ファイルを編集する際にお使いください。

使い方

1.  ボタンを押す。
2. ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが開きます。
3. 任意の HTML ファイルを選び、「開く」をクリック。
 - HTML ファイル以外は開くことができません。

詳細

- 修正したファイルをワード標準の機能で保存すると、ワード形式で保存されてしまいます。
- 保存するときは「3. HTML ファイルを保存する」を使用してください。

3. HTML ファイルを保存する

Word 上で開いている HTML ファイルを保存します。

使い方

1.  ボタンを押すと、HTML 形式のファイルとして保存されます。


詳細

- 「2. HTML ファイルを開く」を使って表示したファイルを保存する際に使います。
- ワードファイルに対して実行した場合、そのまま上書き保存されます。
- 新規文書を保存することはできません。

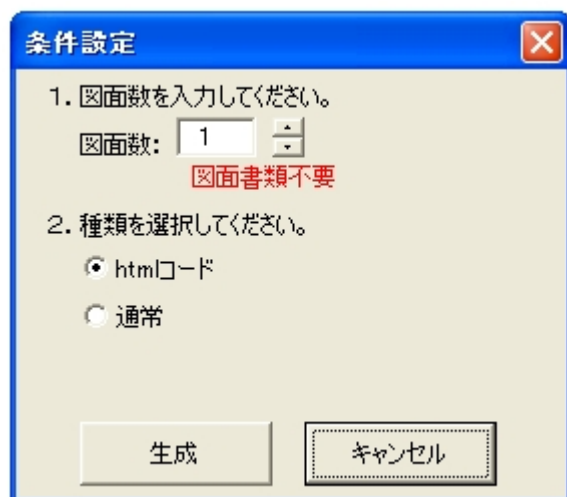
4. カーソルのある位置に図面書類を作成する

指定された図面数の図面書類を作成します。図面書類は html コードまたは通常の様式で出力されます。

使い方

1. 図面書類の挿入位置にカーソルを移動する。「5. 図面書類作成位置にカーソルを移動する」を使えば、容易にカーソルを移動できます。
2.  ボタンを押す。

3. ボタンを押すと図面数と種類を指定するダイアログが開きます。図面数は必要な図面の数を入力し、種類ではhtml コードか通常（html 化されていない様式）かを選択し、「生成」ボタンを押します。



- カーソル位置に図面書類が挿入されます。

注意

- Word のファイルが複数開いた状態で実行すると、マクロの動作時に画面が別のファイルに切り替わってしまう場合がありますが、図面書類は、マクロを実行したファイルに作成されます。
- Word のファイルをひとつだけ開いた状態で実行することをお勧めします。
- html コードを選択した場合には「001」「002」のように画像ファイル名を img タグに設定します。
- 画像ファイルが保存されている場合は、そのファイルの拡張子に合わせて画像ファイル名が設定されます。
- 画像ファイルがない場合は、拡張子を「gif」にして画像ファイル名が設定されます。

詳細

- 【図面の簡単な説明】が記載されていない場合は、赤色で「図面書類不要」というメッセージを表示します。（図の状態）
- 図面書類は現在のカーソル位置に作成されます。「5. 図面書類作成位置にカーソルを移動する」を使用すれば明細書の末尾、または「【書類名】図面」にカーソルを移動できます。

5. 図面書類作成位置にカーソルを移動する

カーソルを明細書の末尾に移動します。既に「【書類名】図面」がある場合は、その位置にカーソルを移動します。

使い方

1.  ボタンを押す。
 - カーソルが明細書の末尾、または「【書類名】図面」に移動されます。